

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
すまいるベ－す		令和7 年 4 月 2 3 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	85%	15%	スペースの細分化はしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	85%	15%	児童の特性や利用人数に合わせて配置している	男性、女性スタッフが、曜日により少ない時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	85%	15%	・視覚的に分かるよう提示している ・リラックスルームを設置している	もう少し児童が分かりやすいように提示していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15%	85%	毎日業務終了後に掃除している	活動に合わせてスペースを作っているが、床等が劣化している部分が見られる。改装予定
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	85%	15%	個室は無いがリラックスルーム等を設置している	リラックスルームが狭い為、入れない時がある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・毎朝をミーティングをしている ・話し合った内容を記録に残している	アルバイトの方にもしっかりと引き継ぐ
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15%	85%	評価表での保護者の意見が乏しく、業務改善に繋がっていない	アンケートの回収、意見の収集をする努力が必要
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎朝のミーティングで把握 必要に応じて再度話し合い、確認をして改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15%	85%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・定期的に内部研修がある ・外部研修にも参加している	気になる研修には積極的に参加していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページにて公表している	保護者にも周知する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	定期的なモニタリングや、送迎時や必要性があった際に保護者と話をする機会を設けている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・各児童の担当職員が同席している ・ミーティングで情報共有している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	ミーティングで情報共有している	全職員が計画に沿った支援が出来る様に、今後もしっかりと共有する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	85%	15%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	85%	15%		地域支援・地域連携の項目が薄い
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	ミーティングで相談し、記録している	どの職員でも立案できるような空気を作る
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	月に一度、全職員で翌月の活動内容を決めている、偏りが無いよう考えている	色々な活動プログラムを考え実施していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	毎日、個別・集団活動行っている	固定化しないよう工夫していく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎朝ミーティングを実施 ・活動での役割を決めている	全員が分担し、チームで支援できるよう、連携を図る
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0%	100%	緊急性が高い時以外は、翌朝のミーティング時に共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	85%	15%	個別で実施記録を作成し、保護者と共有、記録を残している	全員が把握できるようしっかりと共有する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年に1度対面で行っている ・必要に応じては、その都度実施している	担当職員だけの判断ではなく、全員で話し合い、保護者へ現状を伝えられるようにする
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	28%	72%	地域で行われているイベント行事に参加できる時は参加している	地域活動の機会が、組み合わせが難しいと感じる
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	85%	15%	児童のレベルの応じて意思確認している	児童や場面によっては難しい為、改善できるようにする
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管、児童の担当者が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15%	85%	相談支援員やS S Wの方と必要に応じて連携を図っている	学校との連携が難しい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	85%	15%	学校によって直接情報共有もあるが、殆どは保護者を通じての共有になっている	学校によって、対応のバラつきがある 日ごろから学校とのやり取りを密に出来る様心掛けていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	15%	85%	保護者、担当の相談支援員より、情報を提供してもらっている	保護者の同意を得たうえで、事業所からも様子の聞き取りをするようにしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	57%	43%	希望があれば提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	71%	29%	外部研修は受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	野外活動等で関わりを持てることはある	交流を求めている保護者が一定数いるが、交流することで得られるものがある為、できる範囲内で交流できる機会を作っていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	85%	15%	モニタリング以外では主に送迎時に行っている	就労等で忙しい方にはメール等で共有できるようにする
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	85%	15%	参観を実施した また、保護者向けのセミナーも案内している	普段の様子が見てもらえるよう 全曜日で参観の実施を検討中
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	モニタリングで行い、確認してもらっている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	送迎時に行っている	保護者にも分かりやすいように記載するよう心掛ける
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	85%	15%	必要に応じて行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	15%	85%	コロナ禍になってからは実施できていない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	すぐに全職員で共有し、改善策を話し合っている、方針が固まったら保護者へ伝えている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HP、Instagramで発信している	発信の頻度を増やすようにする
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	71%	29%	留意している、実施記録に住所を記載していたが、廃止にした	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	視覚支援を行ったりと分かりやすい支援を行えるよう心掛けている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	できていない	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	85%	15%	月に一度避難訓練を実施している	避難訓練の内容や様子を保護者にもしっかり周知してもらえるよう努力が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年に一度見直している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	85%	15%	契約時に保護者より聞き取りを行っている必要に応じて確認している	全職員が把握するようしっかり共有する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画は年に一度作成、研修は定期的に行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	必要な場合や、変更点があった際は周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	85%	15%	記録後に全職員に共有し、対策方法を話し合っている	安全に過ごせる様些細なことでも記録し、共有する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に内部研修を行っている	職員全員が日々の支援の中での振り返りをし、気になる点等は話し合うようにする
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	保護者にしっかりと説明し、同意を得た上で、計画書に記載している	身体拘束を行った際には記録も残す